

Media release

2008年11月25日

UBS、岡村進をUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社代表取締役社長に任命

2008年11月25日、東京 - UBS グローバル・アセット・マネジメント株式会社は、本日付にて、現取締役機関投資家営業部門長 兼 商品部門長の岡村進が代表取締役社長に就任すると発表しました。岡村は、UBS グループ経営委員会メンバーかつ UBS グローバル・アセット・マネジメント・アジア太平洋地域最高責任者で、2007年6月より UBS グローバル・アセット・マネジメント株式会社代表取締役社長を務めたクリストフ・クッチャーにより、その業務を引き継ぐことになります。

岡村は2005年11月にUBS グローバル・アセット・マネジメント株式会社に入社し、直近まで取締役機関投資家営業部門長兼商品部門長を務めてきました。今後は自身の資産運用業界における豊富な経験を同社社長としての新たな職務に活かすことを期待されています。UBS 入社以前は第一生命保険相互会社に20年間勤務し、日本ならびに米国において、様々な部門で責任ある職務を担ってきました。2000年には興銀第一ライフ・アセット・マネジメント USA(現 DIAM USA Inc.)社長兼 CEO に就任し、経営全般にかかる職務に従事してきました。岡村は引き続き、香港にてアジア太平洋地域責任者としての職に専念することになるクリストフ・クッチャーにレポートします。

クッチャーは次のように述べています。「岡村の資産運用業界における幅広い知識と経験が、グローバルな見識・リソースを提供しつつ日本のお客様とのつながりを一層強化するという UBS グローバル・アセット・マネジメント株式会社の戦略を更に加速させるものと確信しております。」

またクッチャーは、「過去二年間、私どもは日本における事業の強化に取り組み、特に投資信託事業においては厳しいマーケット環境にかかわらず大きな成功を収めてきました。岡村のリーダーシップの下、UBS は今後も日本のお客様に最良のサービスおよび日本市場のニーズに合わせたテイラー・メイドの商品を提供していきます。」と述べています。

岡村は1985年に東京大学法学部卒業、1994年にコロンビア大学より経営学修士号取得しています。

以上

お問い合わせ先:

広報部
電話 03 5208 6600

UBSについて

UBSは強固な財務力と常に変化を受け入れるグローバルな企業文化を有し、革新性で定評のある世界有数の金融機関です。

その主要事業部門である富裕層向けウェルス・マネジメントおよびアセット・マネジメントにおいていずれも世界トップの一員を占め、投資銀行・証券業務においても世界有数の地位を占めています。スイス国内においては、リテールおよびコマーシャル・バンキングで業界をリードしています。

本社はバーゼルおよびチューリッヒ、世界の主要金融市場を含む50カ国以上で事業を展開しています。従業員は約75,000名で、内37%が米州、34%がスイス、16%が欧州、そして13%がアジア・パシフィック地域で働いています。UBSの株式は、スイス、ニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場されています。

UBS グローバル・アセット・マネジメントについて

UBS グローバル・アセット・マネジメントは、世界有数のアセットマネージャーとして、伝統的資産運用、オルタナティブ運用、不動産投資そしてインフラ投資など、多様な運用ソリューションを世界中の個人投資家、金融仲介企業、そして機関投資家のお客様に提供しています。2008年9月末時点における運用資産残高は総額7,080億スイスフラン(4,480億ユーロ、3,550億英ポンド、6,300億米ドル)となり、世界最大級の資産運用会社、欧州におけるリーディング・ファンド・ハウス、ならびにスイス最大規模のミューチュアル・ファンド・マネジャーです¹。

UBS グローバル・アセット・マネジメントは、27カ国に約3,800人の社員を擁するグローバル企業です。ロンドン本部を始めシカゴ、フランクフルト、ハートフォード、香港、ニューヨーク、パリ、リオ・デ・ジャネイロ、シドニー、東京、トロント及びチューリッヒに主要オフィスを構えています。

¹出所: Lipper FundFlows Insight Report (2008年9月30日)